



平成 20 年 9 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社インターアクション
代表者名 代表取締役社長 木地 英雄
(コード番号 7725 東証マザーズ)
問合せ先 取締役業務部長 木地 貴雄
電話番号 045-788-8373
U R L <http://www.inter-action.co.jp>

米国テセダ社との業務提携の進捗及び追加資金提供に関するお知らせ

株式会社インターアクションは、DFT テストシステムに関する業務提携先である Teseda Corporation (本社：米国オレゴン州ポートランド、以下「テセダ社」) の業務拡大による資金需要を補う目的で、同社が発行する転換社債を引き受けることといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携の状況と追加資金提供の理由

テセダ社は、DFT (Design-for-Test) 分野におけるハードウェアとソフトウェアの完全な統合を図り、半導体製品の製造コスト削減と歩留まり向上をもたらす製品の開発を目的として、2001年に設立されました。テセダ社の開発した V520 は、DFT に特化して設計され、極めて小さい装置でありながら必要かつ十分な評価解析機能を有するテストプラットフォームとして脚光をあびました。また、後継機として 2007 年末に発表し 2008 年より本格的に販売を開始した V550 においては、100Mhz 高周波数、512 ピンへの対応を始め機能の拡大を図っており、各国の大手半導体製造会社、ファウンドリ、大学・研究機関等から高い評価を受けております。

当社は、2007 年 1 月にテセダ社と業務提携し、テセダ製品の販売を開始するとともに、同社の発行する転換社債を引き受けることにより基礎開発を支援するための資金の提供を行ってまいりました (2007 年 8 月までに転換社債総額 U. S. \$1, 200, 000. 00、転換価格 1 株当たり 8 セント～10 セントにて引受け)。

この度、テセダ社経営陣及びテセダ社の主要株主である KT Venture Group (米国大手半導体設備メーカーである KLA-Tencor の投資子会社)、SmartForest Ventures らと協議を重ね、今後、日本市場をはじめ世界的に Teseda 製品の販売拡大が見込めることから、テセダ社がさらに製品開発を推進することを支援する目的で当社は新たに発行される転換社債 (U. S. \$1, 000, 000. 00) を引き受けることといたしました。なお、テセダ社の 2008 年 4 月の KT Venture Group 他からの増資実績を踏まえ、転換社債の転換価格は 1 株当たり 14 セントといたしました。また、本転換社債の引受けに関しては、自己資金でまかないます。

これにより当社は、テセダ社の転換社債を U. S. \$2, 200, 000. 00 保有することとなります。これら転換社債を全て株式に転換した場合、当社のテセダ社株式保有率は約 40% となりますが、今後の転換などの取り扱いについては、テセダ社の業績の動向により検討してま

います。

2. 今後の見通し

今期の業績に与える影響は軽微であります。

以上